

# JR東海労ニュース

No.2745

2023年2月27日

JR東海労働組合



2023 JR総連春闘を職場から闘おう！シリーズ⑦

## 「そのような考えはない」と不誠実な回答ばかり 値上げラッシュに賃上げが遅れてはならない！ 第2回団交

本部は本日、2023年度賃金引き上げ、夏季手当及び諸要求の申し入れについての第2回団体交渉を開催し、会社は申し入れに対する回答を示しました。

会社回答は「そのような考えはない」を繰り返すばかりでした。会社は、第3四半期決算では連結で1,806億円もの利益を計上しました。これは、ベアを含めて手当などの賃金引き上げが充分可能ということです。ホンダがベア12,500円のベアを獲得したことで、世間ではベア10,000円前後の賃上げが今後相次ぐことが期待されています。JR東海ユニオン（JR連合）のベア3,000円超低額要求は、論外中の論外としても、JR東海がこれだけの利益を上げたのは、組合員・社員の努力の賜であることには間違いありません。組合員・社員の努力に応えるためにも、JR東海労の要求通りの回答をするべきです。

会社は、いつも「厳しい厳しい」と言いますが、それは賃上げを抑えるための口実に過ぎません。本当に厳しいならば、天文学的な建設費がかかるリニアから撤退するはずですが。リニア建設を諦めずに、強引に進めるということは、財政的に余裕があるということです。

また、追加で申し入れた申第13号「JR東海ツアーズについて」の回答も受け、若干のやりとりを行い、旅行引換証について今後も使用できることを確認しました。

本部は、今後の団体交渉で、会社主張の矛盾点を追及し、組合員・社員が納得する賃上げ獲得を目指し奮闘します。